

日本心血管インターベンション治療学会内登録データを用いた統合的解析 について

1. 研究の対象

2010年11月以降当院で心血管疾患に対するカテーテル治療を受けた方

2. 研究目的・方法

【目的】

心血管疾患に対するカテーテル治療の進歩は著しく、本邦でも積極的に実施され治療法として重要な位置を占めております。しかしながら、その実態を正確に把握できるデータ（年間施行症例数、術成功率、合併症発生率、患者の治療1年予後状況など）は現存していない現状です。

本研究は、本邦における冠動脈疾患、末梢血管や構造的心疾患に対するインターベンション（冠動脈インターベンション；PCI, 末梢血管インターベンション；EVT, 構造的心疾患インターベンション；SHD）の全容を正確に把握することを目的として実施します。

本研究を通じて、臨床研究の推進とその成果の普及をもって、診断治療技術の向上と学術文化の発展に資することにより、心血管疾患の予後改善の責務を広く社会に果たせると考えています。

【方法】

対象となる患者さまの通常の診療において得られた治療や検査のデータを電子カルテなどの診療情報から収集します。この調査のために、治療が変わったり検査が追加されたりすることはありません。

【研究期間】2027年3月30日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：患者背景、手技情報ならびに術後成績（退院後の予後情報を含む）、死亡、急性冠症候群、脳梗塞、出血、心不全、血行再建ならびにカテーテル治療に伴う合併症 など

*本調査では試料（血液や組織など）は取り扱いません。

4. 外部への情報の提供

参加施設からインターネットを介して情報をNational Clinical Databaseシステムのデータベース上に登録（レジストレーション）されます。データは、特定の個人を識別することができる項目は削除され、いわゆる「個人情報」は含まれません。

5. 研究組織

責任者：日本心血管インターベンション治療学会理事長

研究事務局：CVIT事務局レジストリー担当（URL：<http://www.cvit.jp/>）

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さまもしくは患者さまの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記までお申出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。

研究責任者： 佐藤 芙美（循環器内科 ・ 医長）

実施施設名： 国家公務員共済組合連合会 大手前病院

住所： 〒540-0008 大阪府中央区大手前 1-5-34

電話番号： 06-6941-0484（代表）

（作成日：2021年3月17日）